

※問と答の内容は、各議員本人が要約したものです。
※問の下の氏名は発言議員名です。

教 育

小中学校のいじめ問題

問 仙田 本市のいじめと不登校の状況は。

答 いじめについて保護者を交えて対応した事例は、小学校では二件あり二件とも解消済み。中学校では十五件あり十二件解消済み、三件が継続指導中です。その他潜在的には、全児童生徒数の二割ぐらゐの割合でいじめはあるものと受けとめています。不登校の人数は小学校九人、中学校三十四人、合計四十三人です。

問 いじめを未然に防ぐための取り組みは。

答 各学校では「いじめは人間として絶対に許されない」という指導を徹底し、いじめられた児童生徒の立場に立つて指導しています。また、校長をリーダーとした支援チームを結成し、組織的な対応を行っています。いじめについては、どの学校でも起こりうるという認識を持って臨み、いじめが発生した場合、早期に確実に解決できるように取り組んでいきます。

いじめから子どもを守る施策を

問 伊藤初 きめ細かな対応ができるように小学校三年

生も三十五人学級にできないか。
答 本市は県の方針に基づき学級規模を定めているので、市独自の予定はありません。

理科教育の推進

問 民部 小学生が理科を楽

しいと思うには、教科書よりも実験が効果的。どのように支援しているのか。
答 学年間の連携や教員に対する研修を行っています。また、使いやすい理科室を整備しています。

問 実験の準備や片づけに手

間がかかり、教師実験だけで済ませることも考えられる。どうしているのか。
答 少人数指導の教員を配置しています。

問 地域で子どもたちに理科の実験や観察の場を。

答 今年度は、さぎの森小学校で天体観測を行いました。今後も野外活動などを通して、観察や体験の場を増やしていきます。

臨時教員の待遇改善を

問 新井 臨時教員の三年間

程度の間一校継続を。
答 子どもを第一に考えた臨時教員の同一校複数年配置を県に要請します。

問 市採用の臨時教員の賃金を県と同水準に。

答 時給は県採用二、八〇〇円、市採用は一、五〇〇円ですが、近隣市町と比較しても低いわけではありません。待遇面で近隣市町の状況を参考



安全のためにゴーグルをつけて実験

にしていきたいです。

ネット利用教育は

問 小林 子どもたちを危険な情報から守るためのネット利用教育は。

答 県教育委員会のネット上の見守り活動を利用し、ネットによるいじめ・トラブルから守る取り組みを行っており、オリエンテーションなども行っています。

薬物乱用防止について

問 西 脱法ハーブの問題

在宅療養のがん患者支援

問 民部 外来のがん治療が

増えている。体力が落ちた在宅療養のがん患者に支援はあるか。
答 四十歳以上の末期がん患者は介護保険が利用でき、入院時から申請できます。四十歳未満は障害に相当すれば障がい者としてのサービスが受けられますが、それ以外の支援制度はありません。

医療・福祉

子どもの命を守る施策について

問 伊藤初 志木市民病院

の小児救急廃止後、医師やベットの確保の進捗状況は。
答 朝霞保健所管内小児救急医療の体制の充実を図るために、イムス富士見総合病院と県が調整中です。十月から小児病棟八床で救急を開始し、十一月からは二次救急医療の輪番病院に加わる予定です。

乳幼児の予防接種へ助成拡大を

問 島田 ロタウイルス及び

B型肝炎ワクチン接種に対する助成は。
答 助成には概算で四、三〇〇万円を要し、財源確保が課

保育所の地震対策

問 民部 保育所の耐震化の

現状は。
答 公立・私立十六施設のうち、耐震診断・改修等が必要な特定建築物は滝保育所一カ所です。滝保育所は、今年度耐震改修の設計を行い、来年度工事をを行います。

保育所の耐震診断・耐震補強を早急に

問 伊藤美 東日本大震災

の際も保護者が帰宅困難者となり保育所で待機した子どもがいた。耐震診断の対象となっていない保育所でも順次診断や補強が必要と考えるが。
答 できるだけ早い時期に耐震化診断を行い、必要な改修等を検討したいと思います。

上野台団地の高齢者見守り対策

問 足立 高齢者見守り対策



社会を明るくする運動駅頭キャンペーン

問 民部 外来のがん治療が増えている。体力が落ちた在宅療養のがん患者に支援はあるか。
答 四十歳以上の末期がん患者は介護保険が利用でき、入院時から申請できます。四十歳未満は障害に相当すれば障がい者としてのサービスが受けられますが、それ以外の支援制度はありません。



B型肝炎ワクチン接種